

検討の観点と内容の特色

① 教育基本法との関連

教育基本法をふまえた教科書になっているかどうか。

観点	内容と特色	該当箇所
1. 幅広い知識と教養を身につけ、豊かな心を育てる(教育基本法第一章第二条一)	<ul style="list-style-type: none"> ●日本および他国の文化、動物や自然、将来の職業など、児童の興味関心に広く訴える題材を取り上げ、広く知識を獲得するとともに、自ら考え表現することを通して豊かな心を育むように配慮している。 ●異なる文化的背景をもった登場人物たちの友情や成長に触れることで、豊かな情操と道徳心を培うように配慮している。 	全体 全体
2. 自律的な学習者を育て、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う(教育基本法第一章第二条二)	<ul style="list-style-type: none"> ●自らの目標を立て、その目標に向かって小さな課題を試行錯誤しながら達成し、思考・判断して表現する単元構成で、自ら学ぶ力をつけ、自律的な学習者を育てるように配慮している。 ●キャリア教育につながるように将来の夢や憧れの人物を紹介する活動などを扱い、未来を見据えて主体的に学び続ける心を育てるように配慮している。 ●日本や世界で活躍する人物や、さまざまな職業を取り上げ、グローバル社会で活躍できる心と力を育むように配慮している。 	HOP→STEP→JUMPのUnit構成 5年JUMP2(pp.74-75)/6年Lesson6(pp.82-91) 5年Unit2扉(p.40)/5年Lesson5(p.68, p.72)
3. 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を尊重する態度を養う(教育基本法第一章第二条三)	<ul style="list-style-type: none"> ●イラストや写真などを含め、性や国籍などの別なく、すべての人が協力して生活を営み、よりよい社会を作り上げる姿を示すことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるように配慮している。 ●友だちのさまざまな面を発見できる活動を通して、他を敬愛する心を育むことができるように配慮している。 ●ペアやグループで取り組む言語活動が豊富に設定され、それらの活動を通して、互いに協力し合う態度を養うように配慮している。 	全体 全体 全体
4. 自然を大切にすることを養う(教育基本法第一章第二条四)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や日本の自然などのよさに気づき発信する教材が用意され、命や自然を大切にすることを育むことができるように配慮している。 	全体
5. 伝統文化と他国を尊重する態度を養う(教育基本法第一章第二条五)	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統文化や地域の行事など、日本のよさを発見し、それらを発信する単元が用意されている。 ●外国の生活や文化を学び尊重する心を育む教材が用意されている。 	5年Unit3(pp.80-105)/6年Unit1(pp.10-35)/Hello, World!(5年pp.92-93)など 5年Lesson7(pp.94-101)/Hello World!(5年pp.50-51, 6年pp.20-21など)

② 教育課程および学習指導要領への対応

学習指導要領の教科の目標や内容を踏まえて編集上の配慮がされているか。

観点	内容と特色	該当箇所
1. 外国語によるコミュニケーションにおける見方、考え方を働かせた深い学びを実現することができる	<ul style="list-style-type: none"> ●UnitはHOP→STEP→JUMPで構成され、児童が自らのゴールを設定し、見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。これにより、児童の学ぶ意欲が喚起され、自ら学ぶ力を育成できるように配慮されている。 ●JUMPでは、いくつかのレッスンで学習した内容を駆使して、目的や場面、状況などに応じて、思考力、判断力、表現力を働かせて深い学びにつながる課題が設定されている。 	全体 JUMP
2. 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動がバランスよく配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ●4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されている。 ●技能・領域のアイコンが示され、その活動がどの技能・領域を重点的に扱っているかが明確になっている。 ●それぞれの教材で、1時間の授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに流れるように活動が配列されている。 ●「聞くこと」「話すこと」は、Lessonの各Partで、次のように段階を踏んで積み上げていく構成になっている。①コミュニケーションの目的や場面、状況が明確なアニメーションを見て語彙や表現がどのように使われているかに気づく。②メインキャラクターの会話を聞いて、音声で十分にインプットする。③練習活動で口慣らしをする。④少しずつ自分のことを伝えたり、伝え合ったりする。 ●「読むこと」「書くこと」は、音声で聞くことに十分に慣れ親しみ、やり取りなどで自分でも口に出した語彙や表現を読んだり、書き写したりするようになっている。 ●「書くこと」は、なぞり書きから書き写しへと丁寧に移行している。また、書く際の注意事項がミニ情報で繰り返し提示されている。 ●Lesson、JUMPとも、目的や場面、状況が明確な言語活動がゴールに設定されており、思考力、判断力、表現力を働かせて、個々の創造性を発揮して言語能力を確実に向上させるとともに、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するように配慮している。 	全体 全体 全体 Lesson Let's Read & Write(5年p.45など)/Let's Listen & Read(5年p.60など) ミニ情報(5年p.15, p.45, p.47, p.57, p.85, 6年p.15, p.17など) Lesson/JUMP



観点	内容と特色	該当箇所
3. コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ●各Lessonの練習活動では、知識及び技能の習得をめざしたものが配置され、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができる。 ●音と文字については、チャンツやABC Fun Boxなどで基礎的な知識・技能を育むことができる。 	Let's Listen ●(5年p.26など) Sound Chant/ABC Fun Box
4. 自分の考えや気持ちを伝え合う基礎的な力を養うことができる	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えや気持ちを伝え合う活動が豊富に用意されている。 ●新しい語彙や表現は、まずは音声で十分に慣れ親しんでから自分のことを伝え合う流れになっており、段階を踏んで無理なく自己表現につなげることができる。 ●新しく学習した表現は、そのLesson以降でも使う機会がスパイラルに設けられており、自分の考えや気持ちを伝えるもともと適切な表現を選択して表現する力を養うことができる。 	全体 Lesson各Partの、Let's Watch → Let's Listen → Let's Speak以降の流れ Small Talk/JUMP
5. 外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる	<ul style="list-style-type: none"> ●異なる文化的背景を持つ人物をメインキャラクターに据え、彼らの生活や考えに触れることで、互いを尊重し合うこと、多様な価値観を受け入れることの大切さに気づけるように配慮している。 ●国際理解教育に資するように外国の生活や文化を取り上げ、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができるように配慮している。 	全体 世界のあいさつ(5年前見返し)/Unit扉(5年p.10)/Hello World!(6年pp.20-21, pp.62-63など)
6. 他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力、判断力、表現力を働かせて、個々の創造性を発揮できる言語活動を充実させ、言語能力を確実に向上させるとともに、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するように配慮している。 ●相槌や発表で気をつけたいことなど、コミュニケーションにおける工夫について扱い、児童が相手意識をもって活動に取り組めるように配慮している。 ●発表において、話し手に配慮した聞き方について取り上げている。 ●友だちのことをよく知ったり、友だちを応援したりするなどの、コミュニケーションの目的、場面、状況を明確にした言語活動が豊富で、友だちや先生と主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができるように配慮している。 	全体 Let's Talk [Speak](5年p.45, p.89など)/JUMPこんなことに気づけよう(5年p.35, p.75など) JUMPこんなことに気づけよう(5年p.75, p.105など) Let's Talk [Speak](5年p.59など)/Let's Try(6年p.91)/JUMP(5年pp.34-35, 6年pp.104-105)/Try This is me!(6年pp.108-109)
7. 英語の特徴や決まりに関する事項を理解して活用することができる技能身に付けることができる	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を通して語彙や表現に親しめるように配慮されている。また、語彙は別冊My Dictionaryにカテゴリ別に分類されており、教科書に参照ページを掲載して検索しやすいように配慮している。 ●豊富なチャンツで、楽しみながら繰り返し語句や表現に触れることができる。 ●Sound Chantで文字と音との関係を学習することができる。 ●ABC Fun Boxで、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を、スモールステップで読んだり書いたりする活動が設定されており、楽しみながら文字に親しむことができる。 ●欄外のミニ情報やABC Fun Boxの「ことばのふしぎ」では、日本語と英語の発音やイントネーションの違い、強勢などをわかりやすく取り上げている。 ●ABC Fun Boxで語順を扱うなど、文の知識について扱いを工夫している。 	パノラマ(5年pp.24-24など)/Let's Talk [Speak](5年p.27など)/別冊My Dictionary Word Chant/Phrase Chant Sound Chant(5年p.44, 6年p.26など) ABC Fun Box(5年pp.36-37, pp.62-63など) ABC Fun Box(例5年p.103ほか)ミニ情報(6年p.67など) ABC Fun Box(6年p.52, p.102)
8. 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする活動が設定されている	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が自分の考えや興味・関心のあることについてやり取りする活動が豊富に用意されている。また、これらが目的や場面、状況がある中でスモールステップを踏んで繰り返し登場することで、児童が思考を働かせて活動に取り組むことができるように配慮されている。 ●リスニングでは、トピックを聞き取ったり、聞き取った情報を整理する活動が設定されており、それらを実際に伝え合ったり発表したりする際に活動できるよう配慮されている。 ●目的や場面、状況に応じて自分の考えを整理して伝える活動が設定されている。友だちとやり取りしてアドバイスをし合ったり、友だちの発表から学んだことを自分の発表に取り入れたりなど、協働的に学び合えるように配慮されている。 	Small Talk(5年p.13, p.25など)/Let's Talk [Speak](5年p.97, p.99など)/Let's Try(5年p.101, 6年p.51など) Let's Listen(5年p.48, p.72など) JUMP(5年pp.34-35, pp.74-75, pp.104-105など)
9. 道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のできることや得意なことを表現する活動などで児童の自己肯定感を高めることができる。 ●国際理解教育に資する単元、題材を配置し、国際社会の平和を希求する心を育むように配慮されている。 ●学習者と同年齢の人種の異なるメインキャラクターの生活を話題としながら、多様な価値観を受け入れ、いじめや差別のない社会への意識や人権意識を高めることができる。 	5年Lesson4(pp.52-61)/6年Lesson6(pp.82-91)/6年Try: This is me!(pp.108-109) 5年Unit3/Hello, World!(6年pp.20-21, pp.92-93など) 全体

③ 教科書の構成上の配慮と工夫

教科書の構成、教材の配列、分量は適切か。

今日的な教育の課題への対応、指導計画と指導への配慮がされているか。

観点	内容と特色	該当箇所
1. 教科書の構成		
(1) 全体の構成	●5・6年とも、各学年の冒頭で、それまでに学習した内容の復習から始まり、Unit と、それを支える教材、2年間使う別冊絵辞典 My Dictionary を関連づけながら学習を進める構成になっている。	全体
(2) Unit の構成	●2学年で6つの言語活動の目標を設定し、それらに向けて学びを深めるために6つのUnitを配置している。Unitは学習指導要領の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成が図れるよう、ねらいの異なるLessonを、段階を追って配置する構成となっており、 コミュニケーションの基礎となる資質・能力、学びに向かう力の育成に適した構成 となっている。 ●UnitはHOP、STEP、JUMPで構成されている。HOPではUnit全体の流れと ゴール を確認して 学習の見通し をもち、自らの目標を立てる。STEPでは語句や表現をスモールステップで段階を踏んで学習する。JUMPではそれまでに学習したことを、 目的や場面、状況に応じて表現する 構成になっている。	Unit Unit
(3) Unitを支える教材	●Unitを支える教材として、ABC Fun Box、Story Time、Try、Hello、World!が用意されている。 ● ABC Fun Box は楽しみながら文字を読んだり書いたりして、 2年間で系統的に文字に親しむ ことができる。 ● Story Time「ケンのおはなし」 では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた物語を、 絵や音声の力も借りて読む力を育む ことができる。 ● Story Time「世界のおはなし」 では、「北風と太陽」や「ガリバー旅行記」など、児童に親しみのある物語を絵を頼りに楽しみながら聞いて、 内容を推測しながら聞く力を育む ことができる。 ● Try では、買い物や道案内など、 特有の場面でよく使われる表現 を、活動を楽しみながら身につけることができる。 ● Hello、World! では、日本や世界について知り、 日本の伝統文化を発見・発信 する活動に結びつけたり、 外国の生活や文化を尊重する異文化理解教育 に結びつけることができる。	全体 ABC Fun Box (5年 pp. 22-23, pp. 62-63, 6年 pp. 32-33, 52-53 など) ケンのおはなし (5年 p. 78, 108, 6年 p. 38, 78, 106) 世界のおはなし (5年 p. 39, p. 79, 109, 6年 p. 39, 79, 107) Try (5年 pp. 76-77, pp. 106-107, 6年 pp. 36-37, pp. 76-77 など) Hello、World! (5年 pp. 50-51, pp. 92-93, 6年 pp. 20-21, pp. 62-63, pp. 92-93)
(4) 学習を支える資料	●別冊 My Dictionary は カテゴリ別に語彙が整理 されており、2年間を通して、 児童が自分の言いたいことを探して使える ようになっている。また、 二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイト で語彙の音声を聞くことができる。 日本語の索引 もあり語句を探しやすい。 ●5年・6年ともに ローマ字表 がついており、児童がローマ字を書くときに参照することができる。 ●5年・6年ともに 英語でこんなことができた! が用意されており、児童が学習した内容の チェックリスト として使うことができる。 ●別冊 My Dictionary には 各学年で学習した表現一覧 や、 教室で使われる英語表現、会話を続けるくふう があり、 二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイト で音声を聞くことができる。 ●別冊 My Dictionary に CAN-DO リスト があり、2年間でどんなことができるようになるかを確認することができる。	My Dictionary (pp. 4-33, pp. 46-49) ローマ字表 (5年 p. 112, 6年 p. 112) 英語でこんなことができた! (5年 pp. 110-111, 6年 pp. 110-111) My Dictionary (pp. 34-43) My Dictionary (pp. 44-45)
(5) 評価への対応	●2年間の CAN-DO リスト が用意されており、目標や評価規準が分かりやすく適切に設定されている。 英語でこんなことができた! では、児童により分かりやすい形で示されており、 児童が自己評価 をすることができる。 ●それぞれのレッスン、コーナーに 観点別の目標 が設定され、指導書に示されている。それぞれの活動は 指導場面、形成的評価の場面、記録に残す評価の場面が明確に設定 され、形成的評価で指導が必要と見取った場合の指導方法が指導書で提案されている。	My Dictionary (pp. 44-45) / 英語でこんなことができた! (5年 pp. 110-111, 6年 pp. 110-111) 全体

観点	内容と特色	該当箇所
2. 配列・分量		
(1) 学習内容は児童の発達段階に応じてわかりやすく適切に配列されている	●言語材料は 平易なものから段階的に配列 され、全体で系統が考えられている。 ● 児童の興味・関心を引く題材や話題 を豊富に扱っている。 ●言語材料は、 アウトプットの前に十分にインプット ができる構成になっている。 ● 既習の言語材料はスパイラル に何度も扱われており、自然に定着するように工夫されている。	全体 全体 全体 全体
(2) 学習方法や授業展開が分かりやすい	●Lessonの各Partは見開きで、 1時間1ページの構成 になっている。ゴールや使いたい表現が明示され、その日のゴールが児童にも指導者にも分かりやすい紙面になっている。 ● 日本語で活動の流れを説明した資料 が二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイト提供されている。	LessonのPart (5年 pp. 54-59 など) Let's Play / Let's Talk / Let's Try
(3) 児童の発達段階に即した適切な分量である	●児童の発達段階に即した適切な分量の教材である。 ● 診断的な活動、練習活動、コミュニケーション活動、言語活動 など、異なるねらいの活動について、 コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を確実に身につける のに十分な量が、それぞれ適切な配分で配置されている。 ●教科書で触れる語彙は668語に設定されている。発信語彙と受容語彙の考え方が意識されており、 発信語彙はチャンツで取り上げる などして、 繰り返し何度も触れられる ように工夫されている。	全体 全体 全体

観点	内容と特色	該当箇所
3. 今日的な教育の課題への対応		
(1) 主体的・対話的で深い学びの実現	●各LessonのLet's TryやJUMPでは、 主体的な学び がおこなわれるように、児童それぞれの考えや気持ちを重視し、自分で選んだ英語で表現する活動が設定されている。既習事項を駆使して 思考力、判断力、表現力を働かせて、深い学びにつながる課題 が設定されており、 ペアワークやグループワークをしながら対話的に学び合う ように配慮されている。 ●LessonやUnitの終わりに 学びをふりかえる ことで、 主体的に学びに関わり、学習の自己調整の力を育てる 工夫がされている。	Let's Try (5年 p. 73, p. 101, 6年 p.51, 91 など) / JUMP (5年 pp. 74-75, 6年 pp. 104-105 など) 5年 p. 75, p. 101, 6年 p. 91, p. 105 など
(2) カリキュラム・マネジメントへの配慮	●各LessonのチャンツやSmall Talk、ABC Fun Box、Story Timeなどの各活動は10～15分単位でできるように設定しているため、 1時間+短時間授業や60分授業にも十分に対応 できるように配慮されている。 ●各LessonやJUMPはねらいが示され、 構成が一定なので目標や指導の流れがわかりやすく 、教員の経験に関わらず 教えやすい構成 となっている。 ● 活動ごとに5領域、評価の3観点の配置が明確 で、提出用のカードや、Lesson末やUnit末のふりかえりなどから、 評価がしやすい構成 になっている。 ● 言語材料や活動内容を、2学年を通してスパイラルに配置 しており、 複式学級 での指導にも配慮している。	全体 全体 全体 全体
(3) 他教科との関連	●社会科、理科、算数科などに関連する題材や、歌の活動を適宜配置して 他教科との関連 をもたせており、 SDGsへの理解を深めたり、CLILの考え方に基づく学習 に発展させたりすることができる。 ●プログラミング教育との関連で指導できる活動が配置されている。	5年 Lesson 6 (p. 87) / Hello、World! (pp. 92-93) / 6年 Lesson 4 (p. 59) / Lesson 7 (p. 97) / ABC Fun Box (5年 p. 23, 6年 p. 53 など) など 5年 Try (pp. 106-107)
(4) 地域・社会・家庭との連携	●日本や地域を紹介するUnitが設定されており、 地域への愛着の心を育む ことができる。 ●児童の作品を展示したり、それらを使って発表したりして、 地域交流、国際交流の取り組み につなげることができる。	6年 Unit 1 (pp. 10-35) JUMP
(5) 多様な学習環境への対応 (ICT、学習の習慣化、個別最適な学び)	●練習活動、コミュニケーション活動、異文化理解の資料などに 音声や映像を使った教材 を用意しており、多様な指導をすることができる。 ●二次元コードを利用して児童が音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができ、 自学自習 や感染症対策を含めた 家庭学習 など、 個別最適で多様な学び につなげることができる。 ●2学年を通して、活動の際に別冊の絵辞典を適宜参考にすることで、語彙や表現を広げることができる。自学自習の際にも活用できる。	全体 全体 別冊 My Dictionary
(6) 中学年、中学校、高等学校との接続の工夫	●各 学年の冒頭で、それまでに学習した内容を復習 したり、各 Unitの冒頭で、言語活動を通してそれまでの学習で育んできた力を確認 したりするなど、中学年からの接続、5年生からの接続が円滑にできる。 ● 日本語と英語を比べて音声の違いに気づかせる活動 や、 ミニ情報 を適宜配置し、中学校・高等学校の英語の学びにつなげる工夫がされている。 ●6年に 中学校生活を展望する Lessonが配置されており、中学校への接続を円滑にする工夫がされている。	英語で言ってみよう (5年 pp. 6-9, 6年 pp. 6-9) / HOP 話してみよう (5年 p. 11, 6年 p. 11 など) ABC Fun Box (例 5年 p.103 ほか) ミニ情報 (6年 p. 67 など) 6年 Lesson 7 (pp. 94-101)

④ 使用上の配慮・工夫

すべての人が学びやすく教えやすい教科書であるための配慮がされているか。

観点	内容と特色	該当箇所
1. 学びやすさ・特別支援への配慮	●専門家の校閲による カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面 づくり、 学習要素が定位置 にあり、それぞれに ねらいが明確な紙面構成、わかりやすい活動の内容・指示文 など、 特別支援 が必要な児童にも 学習上の支障がない ように配慮している。 ●大判 (A4 判) で、イラストや写真が大きく扱われており見やすい。また、 ユニバーサルデザインに配慮したフォント を使用している。 ● Lessonの活動は定位置に配置 されており、特別支援が必要な児童を含む すべての児童が安心して学習 できる工夫がされている。また、Let's PlayやLet's Talkには、 日本語で活動の流れを説明した資料 が二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイト提供されている。	全体 全体 全体
2. 造本の工夫 (書き込み・評価への対応など)	●環境にやさしい用紙とインキを使用している。また、十分な大きさの 書き込み欄 が設けてあり、記入がしやすい。 ●印刷は鮮明で、見やすく、製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられる。 ● 巻末に配置したカード は児童が活動で書き込むことができ、作品は ポートフォリオ、評価の資料 とすることができる。 ● 巻末カード には ミシン目 があり、切り取りやすくなっている。予備のカードが奥側に配置されており、教科書から切り取らずに残しておくことができ、児童が 紛失しない工夫 がされている。	全体 全体 巻末 巻末

⑤ 検討の観点と内容の特色

二次元コードコンテンツ、学習者用デジタル教科書等デジタルコンテンツに関する配慮と工夫
学びを促し、深める、二次元コードコンテンツや学習者用デジタル教科書が用意されているか。

観点	内容と特色	該当箇所
1. 二次元コードコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書紙面の176か所に配置した二次元コードにより、955種類のモデル動画や音声などのデジタルコンテンツにふれることができる。 全体として、モデル動画38点、アニメーション100点、音声522点、画像やPDF等206点が用意されている。 ●各Lesson冒頭のPanoramaや別冊My Dictionaryなどのイラストをタッチすると単語の音声を聞くことができるため、言語活動に向けて、児童が自分のペースで学習を進められるようになっている。 ●音声の再生では音声にあわせて英文がハイライトされる機能のほか、活動の手順を日本語で丁寧に説明した「活動のしかた」の表示ができる等、個々の児童の特性に応じて、学習を補助するコンテンツが用意されている。 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>全体</p>
2. 学習者用デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ●制度に沿って提供される「デジタル教科書」が用意されている。紙面の拡大、朗読音声の再生等の機能やコンテンツを活用し、学習のさらなる充実を促すことができる。 ●ルビ表示や背景・文字色の変更等、ビューアによる学習補助機能により、児童が特性に応じて安心して学習を進めることができる。 ●教科書紙面に掲載された二次元コードコンテンツへアクセスして、端末を活用し、充実した学習を進めることができる。 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>全体</p>